



株主の皆様へ

CMP 通信

2012年3月期 中間報告書

2011年4月1日～2011年9月30日

中国塗料株式会社

証券コード：4617

Ecology

環境との調和

Innovation

世界的視野に立った技術革新

Quality

高機能・高品質製品の開発

3つの視点から最先端技術で未来を見つめます。

社会の発展に結びつく高品質と高機能。その前提には、自然と人との調和に対する配慮が不可欠です。私たちは、Ecology、Innovation、Qualityという3つの視点から、常に技術の最先端で人と塗料を見つめます。

Contents

ごあいさつ	1
当上半期の概況	2
分野別概況	3
連結決算ハイライト	5
当上半期の当社の活動	7
環境・社会への取り組み	9
連結財務諸表	10
四半期連結貸借対照表	10
四半期連結損益計算書	11
四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
会社概要	13
株式の状況	14
株主メモ	15



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当上半期(2011年4月1日より2011年9月30日まで)の当社グループの業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長

植竹正隆

当上半期における世界経済は、日本が東日本大震災による生産の落ち込みから立ち直りを見せながらも、欧州債務危機をはじめ米国経済の不振や新興国の金融引き締めなどによる消費需要の低迷により、景気減速傾向を強めつつ推移しました。

当社グループを巡る経営環境としましては、世界経済の減速に加え、歴史的円高の継続により売上、利益ともに縮小するなど、総じて厳しいものとなりました。うち、船舶分野では、新造船建造量が世界的には概ね前年同期レベルとなりましたが、海外売上高の円換算額が目減りし、また工業分野では、海外の建設需要は堅調であったものの、国内は震災の影響によりインフラ・プラント投資に一時的な下方調整が生じました。一方、コンテナ分野では、コンテナボックス生産が概ね安定した回復基調を維持しました。

このような経営環境の中、当上半期における当社グループの売上高は、48,138百万円(前年同期比3.5%増)となりました。その一方、原材料価格が当期を通じて高値で推移したことから、営業利益は3,105百万円(同23.9%減)、経常利益は3,466百万円(同14.5%減)となり、四半期純利益は2,144百万円(同16.4%減)となりました。

かかる業績を踏まえ、また株主の皆様への安定的な利益還元を行なうべく、中間配当につきましては、1株につき6円とさせていただきます。

今後の当社グループを取り巻く経営環境としましては、世界的に経済の先行き不安が広がり、これに対して各国の財政・金融双方での政策発動余地が狭められつつあることから、見通しが極めて不透明なものとなっております。そうした中、船舶分野では、過去急速に拡大した新造船の建造ペースが今後緩和の方向に転じるものの、船舶就航量の増加に伴う修繕需要は堅調に推移するものと予想されます。その一方、工業分野においては、国内での市況が盛り上がりを欠く上に、新興国の建設需要に減速感が生じており、またコンテナ分野においても、欧米の経済動向によっては、一時的な調整局面を迎える可能性も否定できません。

このように不安定な環境ではありますが、潜在的な市場の開拓余地は決して小さくないことから、当社グループといたしましては、環境・省エネ対応をはじめとする高付加価値・高機能製品の開発を続けるとともに、新たな需要を掘り起こすべく、グローバルに経営資源を配置するなどの施策に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく申し上げます。

船舶用塗料

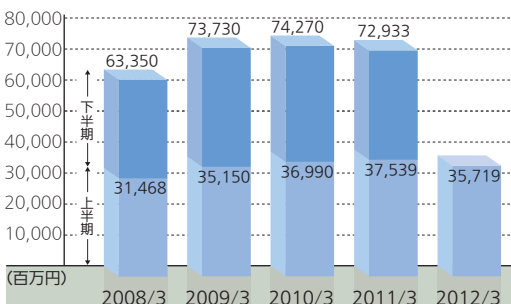


一時手控えられていた中国の資源輸入が増加に転じたことから、ばら積み船の運賃市況は年初来の高値を回復し、また、震災により落ち込んでいた自動車輸送も立ち直りを見せるなどの動きがありました。その反面、欧米をはじめとする世界的な需要不振や海上輸送需要の伸びを上回る新造船の就航が続いていることから、とりわけ海上コンテナ輸送で余剰感が生じるなど、海運市場を巡る環境は目まぐるしく変動しています。

世界経済が変動に揺れる中、今後も海運市場は短期的な変動が続くと思われませんが、一方で新興国を中心にお底堅い海上荷動きが期待され、また現在就航している船舶の中で、修繕や更新の周期を迎えているものも少なくありません。

このように中長期的には新造のみならず修繕を含めた堅調な需要が見込めることから、当社といたしましては引き続き製品開発を進め、省エネ・環境をはじめとする海運・造船業界の諸課題に少しでもお応えすべく、尽力してまいります。

船舶用塗料の売上高



工業用塗料

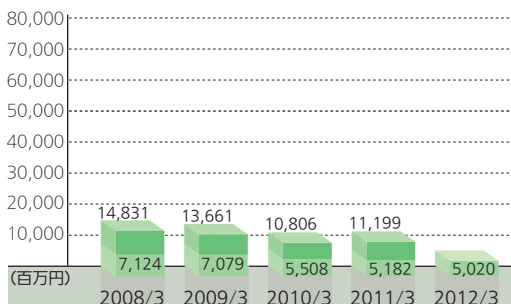


旺盛な投資が続いていた新興国の建設市場ですが、経済成長から物価の安定に政策の力点が移るのに伴い、このところ減速傾向に転じつつあります。これに加え、国内においては、震災によりインフラ・プラント投資に下押し圧力が生じ、かつ民間住宅建設の持ち直しを支えてきた優遇策が7月から9月にかけ相次いで縮小するなど、工業用塗料の市況は先行きを見通しにくいものとなっています。

しかしながら、減速を生じつつも新興国の建設需要は今後も底堅く推移することが予想され、また国内建築市場もいずれは震災の影響を脱するものと思われま

こうした中、当社といたしましては、建築や重防食分野での需要を世界的に捕捉し、かつ同分野で培ってきた技術をより高機能・高付加価値な各種工業用途へ応用展開すべく、従来に増して様々な取り組みを推進してまいります。

工業用塗料の売上高



コンテナ用塗料

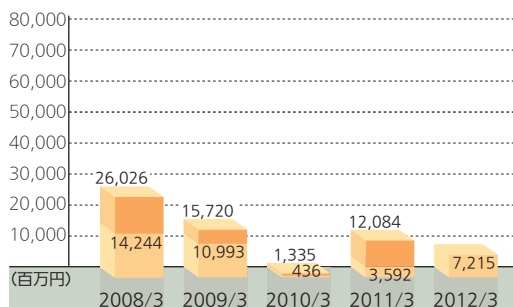


経済危機後の海上荷動きの回復に伴い、海上コンテナボックス価格は2011年4月時点で過去最高水準に達しました。しかし、その後欧米の経済先行き懸念が広がる中、夏場のコンテナ輸送が需要期にもかかわらず低迷したことから、同価格も1～2割程度反落しています。

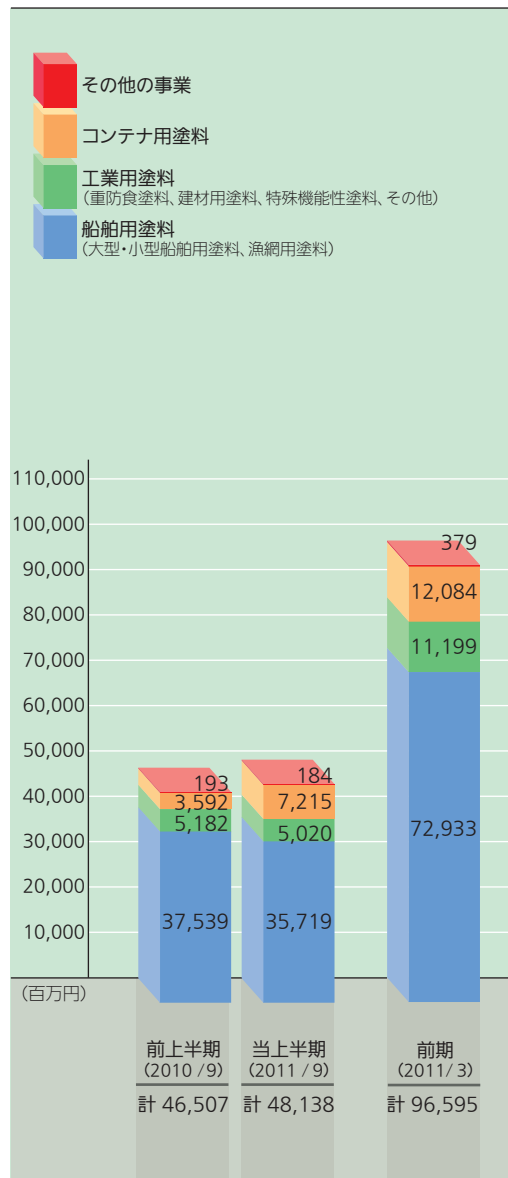
このような需要の変動が今後マーケットに及ぼす影響を予測することは困難ではありますが、反落したとはいえコンテナボックス価格は依然リーマンショック前の2008年レベルを維持しており、短期的には極端な生産調整が行なわれる可能性は低いものと思われる。

景気の影響を受けやすいコンテナ用塗料需要ですが、当社といたしましては、こうした変動に柔軟に対応できる体制をとりつつ、水系塗料を核に同業界における環境ニーズに対応した製品と塗装システムの開発を続けることにより、シェアの拡大を目指してまいります。

コンテナ用塗料の売上高



分野別売上高

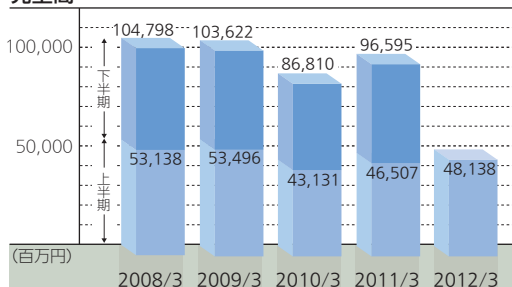


連結決算ハイライト

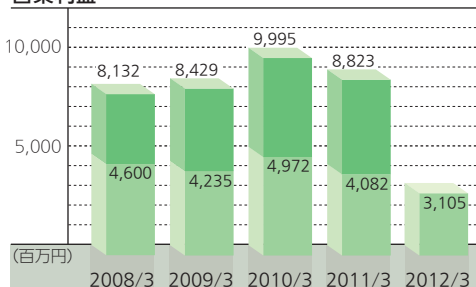
(単位：百万円)

科 目	前上半期 (2010年4月1日～2010年9月30日)	当上半期 (2011年4月1日～2011年9月30日)	前期 (2010年4月1日～2011年3月31日)
売上高	46,507	48,138	96,595
営業利益	4,082	3,105	8,823
経常利益	4,054	3,466	9,114
四半期(当期)純利益	2,565	2,144	5,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,611	168	1,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,601	△ 470	△ 1,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,772	3,701	△ 1,671
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	12,565	15,049	11,825
純資産	47,056	50,587	48,874
総資産	97,233	103,826	100,305
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	37.31	31.19	82.94
自己資本比率(%)	45.3	45.6	45.6

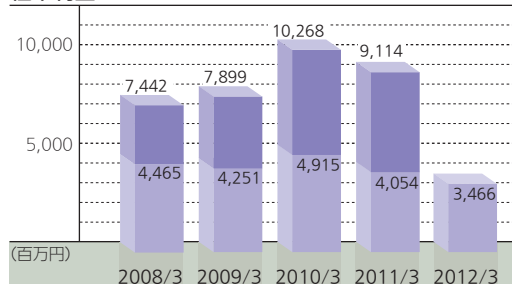
売上高



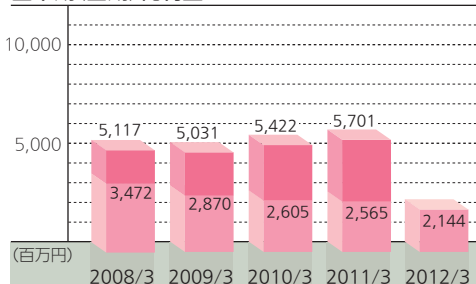
営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



海外ネットワーク

■工場 ●事務所 ●技術供与先 ■販売代理店 ◆ストックポイント

Europe

オランダ
英国
ドイツ
ギリシア
イタリア
ノルウェー
スペイン
トルコ

Middle East

U.A.E.

Africa

南アフリカ
エジプト

Asia

中国 上海
広東
その他
香港
台湾
日本
韓国
シンガポール
マレーシア
タイ
インドネシア
フィリピン
ベトナム
インド
スリランカ

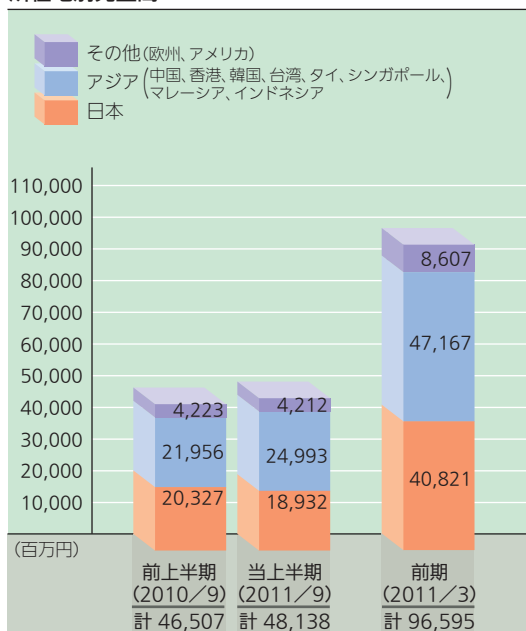
America

米国
キュラソー

Oceania

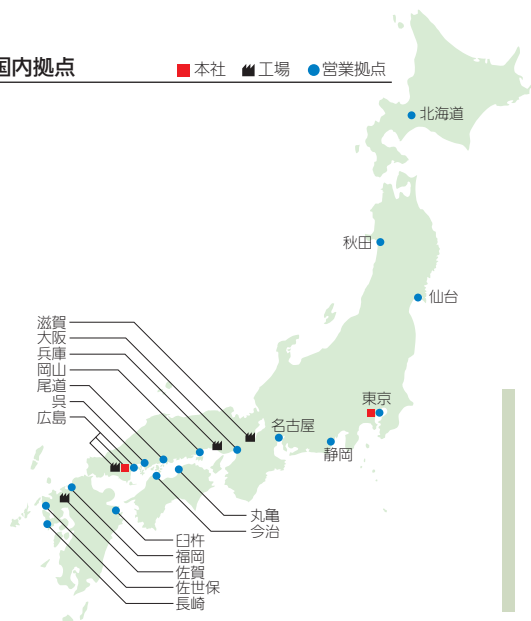
オーストラリア
ニュージーランド

所在地別売上高



国内拠点

■本社 ■工場 ●営業拠点



New Products

新製品情報

環境に優しい船舶塗装システム

CIT-ECOシステム



当社は、船のさまざまなエリアに適応した各種高性能塗料を組み合わせることにより、船の燃費低減効果や塗膜性能のさらなる向上を実現した船舶塗装システム「CIT-ECO」を開発しました。「CIT-ECO」は水系塗料や低溶剤型を中心としたラインナップにより、VOC（揮発性有機化合物）の低減などの環境への配慮を一段と強化しています。

■ CIT-ECOシステム／主要製品

船底防汚塗料	SEAFLO NEO シリーズ CMPバイオクリン HB & R
ユニバーサルプライマー	バンノー 1500 & 2000
内部用水系塗料	スワンHB L
トップサイド	ケイソルEP-SL
飲料水タンク	クリーンキープ 5000
デッキ用遮熱塗料	サーモシャダン

■ CIT-ECOシステム／新規開発製品

ユニバーサルプライマー バンノー1500

船底防汚塗料の「燃費低減効果」をさらに高めるために、表面平滑性を強化した防食下塗り塗料です。また、バンノー1500は船底部をはじめほとんどの上塗りに対応する、環境に優しい低VOCタイプです。



バラ積船庫内への塗装



船体ブロックへの塗装

当社のベストセラー船底防汚塗料の性能を強化！

加水分解型船底防汚塗料

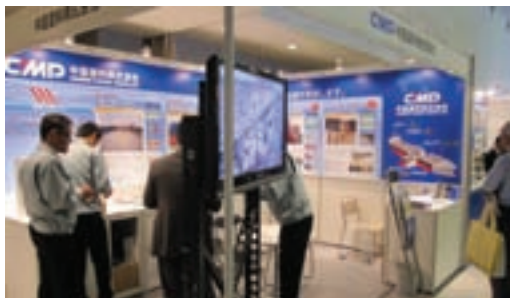
シーグランプリ1000L

安定した性能を誇り、多くの実績を築いてきた加水分解型船底防汚塗料シーグランプリ1000の防汚性能をさらに高めたシーグランプリ1000Lを開発しました。環境にも配慮した低VOCタイプです。



展示会への出展

海事産業の盛んな愛媛県今治市において開催された今治海事展、ノルウェーで開催されたノル SHIPPING 展に出展し、船舶用塗料のアピールを行ないました。今後もさらなる営業展開を図るべく、積極的に営業・広報活動を行なってまいります。



今治海事展(BARI SHIP) 5月21～23日(愛媛県今治市)



NOR-SHIP 2011 5月24～27日(ノルウェー)

WEBサイト刷新

2011年8月、当社のWEBサイトを全面リニューアルしました。今後とも株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様にとって使いやすいサイト作りに取り組んでまいります。



トップページ



株主・投資家情報ページ

環境への取り組み

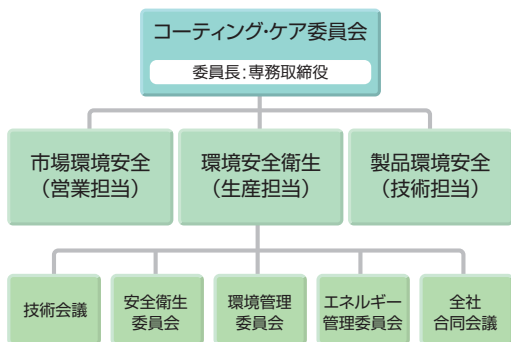
地球環境の保全是私たちが生存していく上で、たいへん重要なことであるという認識の上に立ち、当社は環境への負荷の低減および環境との調和に努めるとともに、安全・健康に配慮した企業活動を「コーティング・ケア」の原則に従い、全社一丸となり展開していきます。



当社は(社)日本塗料工業会が推進する「コーティング・ケア」に則り、環境・安全・健康の保全是目的とした自主管理活動を行なっています。

コーティング・ケア推進組織

コーティング・ケアを推進するにあたり当社では次のような委員会・組織を設け活動しております。



化学物質の安全性に関する情報の管理

当社は、環境保全や製品安全面での管理を強化するとともに、お客様への情報提供を円滑に行なうため、化学物質管理システムを導入しています。

ISO14001環境マネジメントシステム

環境保全という重要な社会的責任を確実に果たすべく、環境マネジメントシステムの構築を進めています。当期末現在、以下の事業所にて認証を取得しています。

中国塗料株式会社 滋賀事業所	日本
中国塗料株式会社 九州工場	
Chugoku Samhwa Paints, Ltd.	韓国

社会への取り組み

当社は、ステークホルダーの皆様に対する幅広い社会的責任を果たすため、健全で透明性の高いコーポレートガバナンスと内部統制の整備に注力するとともに、世界各国で地域社会との良好な関係の構築に努めています。

社会・環境報告書

当社の各年における社会・環境への取り組みを「社会・環境報告書」とりまとめ、公開しています。



「社会・環境報告書」はホームページよりダウンロードいただけます。
<http://www.cmp.co.jp/eco/>

また、冊子をご希望の方は当報告書裏表紙に記載の弊社東京本社までご請求ください。

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目		前期 (2011年3月31日)	当上半期 (2011年9月30日)	
資産の部	流動資産	現金及び預金	12,412	15,426
		受取手形及び売掛金	41,758	41,996
		有価証券	607	800
		商品及び製品	7,973	8,395
		仕掛品	390	368
		原材料及び貯蔵品	5,793	6,150
		繰延税金資産	826	757
		その他	1,097	945
		貸倒引当金	△ 789	△ 706
		流動資産合計	70,070	74,135
	固定資産	有形固定資産		
		建物及び構築物(純額)	6,593	6,513
		機械装置及び運搬具(純額)	2,980	2,850
		土地	13,131	13,133
		その他(純額)	778	923
		有形固定資産合計	23,484	23,420
		無形固定資産	878	789
		投資その他の資産		
		投資有価証券	4,708	4,257
		繰延税金資産	453	530
		その他	756	739
貸倒引当金	△ 46	△ 46		
投資その他の資産合計	5,872	5,481		
固定資産合計	30,235	29,691		
資産合計	100,305	103,826		
負債の部	流動負債	支払手形及び買掛金	17,368	15,584
		短期借入金	19,529	23,723
		1年内返済予定の長期借入金	1,147	1,122
		未払金	3,097	2,896
		未払法人税等	1,225	858
		賞与引当金	93	206
		役員賞与引当金	-	43
		製品保証引当金	105	113
		その他	2,577	2,374
		流動負債合計	45,145	46,923
	固定負債	長期借入金	1,920	1,871
		長期未払金	293	297
		繰延税金負債	32	34
		再評価に係る繰延税金負債	3,026	3,026
		退職給付引当金	604	698
		その他	408	386
		固定負債合計	6,285	6,315
負債合計	51,431	53,238		
純資産の部	株主資本	資本金	11,626	11,626
		資本剰余金	7,783	7,783
		利益剰余金	30,547	32,210
		自己株式	△ 201	△ 203
		株主資本合計	49,756	51,417
	その他の 包括利益 累計額	その他有価証券評価差額金	47	△ 360
		土地再評価差額金	3,168	3,168
		為替換算調整勘定	△ 7,228	△ 6,904
		その他の包括利益累計額合計	△ 4,011	△ 4,096
		少数株主持分	3,129	3,267
純資産合計	48,874	50,587		
負債及び純資産合計	100,305	103,826		

流動資産

現金及び預金の増加などにより、前期末に比べ40億6千4百万円増加しました。

流動負債

短期借入金の増加などにより、前期末に比べ17億7千8百万円増加しました。

株主資本

当上半期の業績を受け、前期末に比べ16億6千万円増加しました。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前上半期 (自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日)	当上半期 (自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日)	前期 (自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日)
売上高	46,507	48,138	96,595
売上原価	32,319	35,336	67,751
売上総利益	14,188	12,801	28,844
販売費及び一般管理費	10,105	9,696	20,020
営業利益	4,082	3,105	8,823
営業外収益	395	585	832
受取利息	49	54	91
受取配当金	114	94	147
受取ロイヤリティー	33	39	76
技術指導料	65	53	137
その他	132	344	379
営業外費用	424	224	541
支払利息	131	175	267
為替差損	147	—	68
その他	145	49	204
経常利益	4,054	3,466	9,114
特別利益	188	0	201
固定資産売却益	4	0	5
投資有価証券売却益	112	—	112
貸倒引当金戻入額	51	—	61
製品保証引当金戻入額	16	—	19
その他	3	—	2
特別損失	329	16	288
投資有価証券評価損	299	—	257
関係会社整理損	—	5	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—	28
会員権評価損	—	9	—
その他	1	0	1
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,914	3,450	9,027
法人税、住民税及び事業税	988	1,039	2,596
法人税等調整額	15	53	109
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	2,910	2,357	6,320
少数株主利益	345	213	619
四半期(当期)純利益	2,565	2,144	5,701

売上高

コンテナ用塗料が回復基調を維持したことなどから、前年同期に比べ16億3千万円増加しました。

営業利益

円高の影響や原材料価格の上昇により、前年同期に比べ9億7千7百万円減少しました。

経常利益

営業利益の減少を受け、前年同期に比べ5億8千8百万円減少しました。

四半期(当期)純利益

営業利益の減少を受け、前年同期に比べ4億2千1百万円減少しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前上半期 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	当上半期 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	前期 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,914	3,450	9,027
減価償却費	801	767	1,680
のれん償却額	10	12	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—	28
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△ 60	△ 104	△ 89
退職給付引当金の増減額(減少:△)	23	90	16
その他の引当金の増減額(減少:△)	9	159	△ 64
受取利息及び受取配当金	△ 164	△ 148	△ 238
支払利息	131	175	267
為替差損益(差益:△)	60	△ 228	87
固定資産除売却損益(益:△)	18	2	31
投資有価証券売却損益(益:△)	△ 112	—	△ 112
投資有価証券評価損益(益:△)	299	—	257
売上債権の増減額(増加:△)	△ 3,361	271	△ 8,683
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 1,552	△ 574	△ 2,183
未払又は未収消費税等の増減額	59	△ 171	△ 116
仕入債務の増減額(減少:△)	4,493	△ 1,921	5,157
その他	△ 97	△ 391	615
小計	4,503	1,389	5,705
利息及び配当金の受取額	163	147	238
利息の支払額	△ 130	△ 170	△ 272
法人税等の支払額	△ 2,924	△ 1,197	△ 4,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,611	168	1,252
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 1,416	△ 833	△ 3,520
定期預金の払戻による収入	908	896	3,120
固定資産の取得による支出	△ 760	△ 494	△ 1,341
固定資産の売却による収入	6	0	8
有価証券の純増減額(増加:△)	△ 532	△ 12	△ 249
投資有価証券の取得による支出	△ 9	△ 13	△ 21
投資有価証券の売却による収入	230	—	230
その他	△ 28	△ 14	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,601	△ 470	△ 1,768
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 1,235	4,404	△ 471
長期借入れによる収入	900	—	1,900
長期借入金の返済による支出	△ 759	△ 73	△ 1,833
自己株式の取得による支出	△ 2	△ 1	△ 6
配当金の支払額	△ 480	△ 480	△ 893
少数株主への配当金の支払額	△ 166	△ 121	△ 312
その他	△ 27	△ 25	△ 53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,772	3,701	△ 1,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 219	△ 175	△ 535
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 1,981	3,224	△ 2,721
現金及び現金同等物の期首残高	14,547	11,825	14,547
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	12,565	15,049	11,825

営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少などにより、前年同期に比べ14億4千2百万円減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入や有価証券の純増額の縮小などにより、前年同期に比べ11億3千1百万円増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増などにより、前年同期に比べ54億7千4百万円増加しました。

現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高

前期末に比べ32億2千4百万円増加しました。

創 立	1917年(大正6年)5月
資本金	11,626,085,606円
本 社	東京本社 東京都千代田区霞が関三丁目2番6号 広島本社 広島県大竹市明治新開1番7 (本店登記地)

CMPグループの概況

CMPグループは中国塗料株式会社(当社)およびその子会社25社により構成されており、塗料製品の製造、販売を主な事業としているほか、これらに附帯するサービス業務等を営んでおります。

塗料関連事業(国内)	(計8社)
当社、大竹明新化学(株)、神戸ペイント(株)、文正商事(株)、 グローバル・エンジニアリング・サービス(株)、 中国塗料長崎販売(株)、中国塗料技研(株)、三陽興産(株)	

塗料関連事業(海外)	(計15社)
CHUGOKU MARINE PAINTS (Hong Kong), Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Shanghai), Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Guang Dong), Ltd. CHUGOKU SAMHWA PAINTS, Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Singapore) Pte., Ltd. CHUGOKU PAINTS (Malaysia) Sdn.Bhd. CHUGOKU PAINTS B.V.	
	その他8社

その他の事業	国内(計4社)
当社、(株)シーエムピー企画、中国ソフト開発(株)、 ヤス運送(株)	

役員

取締役		
代表取締役会長	山住	哲夫
代表取締役社長	植竹	正隆
専務取締役	木戸	久雄
専務取締役	船田	昌平
取締役	広中	茂美
取締役	宮内	光明
取締役	長谷川	博
取締役	尾野	真史
取締役	河添	正雄
取締役	土井	常雄
取締役	三好	秀則

監査役

常勤監査役	宮原	忠之
常勤監査役	伊達	満
監査役	浦部	善教
監査役	岡田	弘

(注)監査役 浦部善教、岡田弘の両氏は社外監査役であります。

執行役員

上席執行役員	近藤	俊昭
上席執行役員	吉野	実
執行役員	鬼石	康之
執行役員	増田	章

CMPグループ従業員の状況

事業区分	従業員数(名)	
塗料関連事業	国内	653 (99)
	海外	1,725 (88)
小 計	2,378 (187)	
その他の事業	国内	29 (9)
全 社(共通)	国内	36 (3)
総 計	2,443 (199)	

※カッコ内は派遣社員および臨時社員の期中平均人数

株式の状況

(2011年9月30日現在)

株式の総数および株主数

発行可能株式総数	277,630,000株
発行済株式総数 (自己株式を含む)	69,068,822株
自己株式	333,832株
株主数	5,230名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	構成比(%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	4,412	6.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,379	6.37
三菱商事株式会社	3,651	5.31
株式会社広島銀行	3,417	4.97
ノーザントラストカンパニー(エイブイフジ)サブアカウントアメリカンクライアント	2,496	3.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,464	3.58
明治安田生命保険相互会社	2,000	2.91
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,553	2.26
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,382	2.01
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,280	1.86

※構成比は自己株式を控除して計算しています。

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容		お問合せ先	
特別口座に記録された株式	<input type="checkbox"/> 特別口座から一般口座への振替請求 <input type="checkbox"/> 単元未満株式の買取(買増)請求 <input type="checkbox"/> 住所・氏名等のご変更 <input type="checkbox"/> 特別口座の残高照会 <input type="checkbox"/> 配当金の受領方法の指定(※)	特別口座の 口座管理機関	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 【手続き書類のご請求方法】 <input type="checkbox"/> 音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 <input type="checkbox"/> インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
	<input type="checkbox"/> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 <input type="checkbox"/> 支払期間経過後の配当金に関するご照会 <input type="checkbox"/> 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びできません。

証券会社等の 口座に記録 された株式	<input type="checkbox"/> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 <input type="checkbox"/> 支払期間経過後の配当金に関するご照会 <input type="checkbox"/> 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711
	<input type="checkbox"/> 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

株主メモ

■ 事業年度	4月1日～翌年3月31日
■ 定時株主総会開催時期	毎年6月
■ 同総会議決権行使基準日	毎年3月31日（その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。）
■ 配 当	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
■ 公告掲載	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに掲載しております。(http://www.cmp.co.jp/)
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 特別口座の口座管理機関	
■ 同連絡先	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711

- 【ご注意】 1、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2、特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3、未受領の配当金につきましては三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

CMP 通信

2012年3月期 中間報告書
2011年4月1日～2011年9月30日



社 名
英文社名
東京本社

中国塗料株式会社

CHUGOKU MARINE PAINTS, LTD.

〒100-0013 東京都千代田区霞が関三丁目2番6号

☎ 0120-70-4931 (しきさい/色彩)

広島本社

〒739-0652 広島県大竹市明治新開1番7

☎ 0120-75-4931 (しきさい/色彩)

ホームページ

http://www.cmp.co.jp/



中国塗料はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。